

事例1 起動できなく ?” マークが出る。

依頼内容	使用機器	Mac G4	障害メディア
Seagate 3.5” P-ATA 80G ST380021A	OS/システム	Mac OSX, OS9	
ファイルシステム HFS+	作業内容		
障害状況	起動できなく ?” マークで固まる。	診断結果	ハード
ディスクの不良セクタ	復旧時間	初期診断 1時間、復旧時間 1日	復旧結果
90 %	エンジニアコメント	ハードディスクに発生した不良セクタが原因でシステム領域が破損されていて、OSが起動できない状態でした。	

ディスクの不良セクタは、ハードディスク自体の欠陥が原因で発生することもありますし、ハードディスクの寿命で発生する場合があります。

不良セクタを処理した後、破損されている領域はリペアリング作業を行い、データを吸い出しました。

不良セクタにより、多少データの破損がありました。ほとんどのデータが正常に回復しました。

マッキントッシュの場合は、ファイルシステムの構造がウィンドウズの構造と異なっているため、ファイルシステムの領域に深刻な不良セクタが発生する場合には、復旧率が著しく低下することがあります。システムが遅くなった、エラー発生が多くなったなどの場合は、まずは不良セクタを疑い早めにデータのバックアップを取っておく必要があります。

事例2 バージョンアップデート後、OSが立ち上がらない。

依頼内容	使用機器	Mac G5	障害メディア
Seagate 3.5” S-ATA 160G ST3160026AS	OS/システム	Mac OSX, OS9	
ファイルシステム HFS+	作業内容		
障害状況	Mac OSX バージョンアップデート後、OSが立ち上がらない。	診断	
結果	ファイルシステム構造破損	復旧時間	初期診断 3時間、復旧時間 2日
復旧結果	100 %	エンジニアコメント	マッキントッシュは、モデルごとに使用可能なバージョンが制限されています。互換性のないバージョンをインストールする場合、正常にOSが立ち上がらないこともあります。

今回の場合、システム領域の破損が原因で、データ領域の破損はなかったため、[データ復旧](#)ができました。

事例3 起動は出来るが、フォルダがすべて消えてしまった。

依頼内容	使用機器	MacBook	障害メディア
Hitachi 2.5” S-ATA 120G HTS541612J9SA00	OS/システム	Mac OSX	
ファイルシステム HFS+	作業内容		
障害状況	起動は出来るが、フォルダがすべて消えてしまった。	診断結果	
ヘッド不良	復旧時間	初期診断 3時間、復旧時間 4日	復旧結果
90 %	エンジニアコメント	診断の結果、ヘッドの不良が原因だったので、ヘッド交換をクリーンルームで行い、ディスクイメージ作業で復旧を完了させました。一部のデータの破損がありました。	

事例4 OSが起動しない。

依頼内容	使用機器	PowerMac G4	障害メディア
Toshiba 2.5" P-ATA 80G MK8026GAX	OS/システム	Mac OSX	
ファイルシステム	HFS+	作業内容	
障害状況	突然、OSが起動しなくなった。	診断結果	パーティション
領域損傷	復旧時間	初期診断 3時間、復旧時間 1日	復旧結果
%	エンジニアコメント	ディスクのパーティションの設定領域がウイルス感染の原因で破損してしまい、正常に起動できませんでした。	100

ディスクのファイルの構造領域にアクセスしてデータを抽出し、すべてのデータを復活させました。

[マック・MAC復旧はこちら](#)